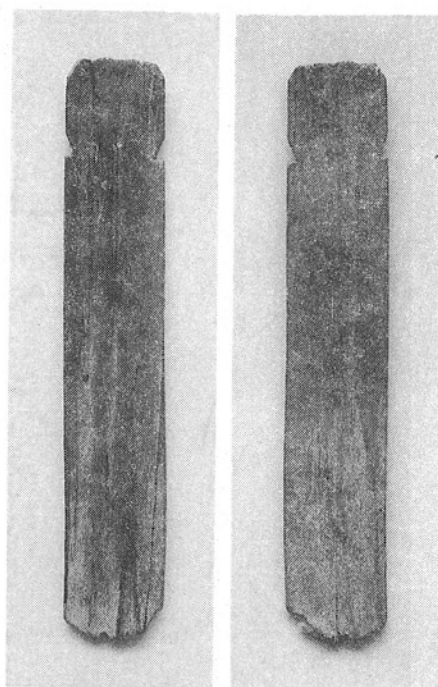


なお、木簡の釈読、赤外線テレビの使用などに際して、奈良国立文化財研究所の寺崎保広氏のご助力を得た。

(橋本清二)



裏面

表面

## 木簡研究 第六号

巻頭言——記紀批判と木簡——

直木孝次郎

一九八三年出土の木簡

概要 平城宮・京跡 平城京二条大路・左京二条二坊十二坪  
平城京左京八条三坊十一坪 東大寺仏餉屋下層遺構 藤原宮  
跡 長岡宮・京跡 平安京右京八条二坊 定山遺跡 水走遺  
跡 津堂遺跡 高宮遺跡 池上・曾根遺跡 万町北遺跡 山  
垣遺跡 福成寺遺跡 沢田宮谷遺跡 長尾沖田遺跡 小川城  
遺跡 道場田遺跡 宮久保遺跡 鹿島湖岸北部条里遺跡 東  
光寺遺跡 北大萱遺跡 篠脇遺跡 北稻付遺跡 鯉沼東Ⅱ遺  
跡 下野国府跡 多賀城跡 一乗谷朝倉氏遺跡 近岡遺跡  
曾根遺跡 前田遺跡 美作国府跡 草戸千軒町遺跡 芳原城  
跡 大宰府跡

一九七七年以前出土の木簡(六)

平城宮跡(第三二次)

平安時代の日記にみえる木簡  
日本古代の人口について

山田 英雄  
鎌田 元一

彙報

『木簡研究』一〜五号総目次

頒価 三五〇〇円 千五〇〇円